

各地区情報

▼北海道

ジャズ・クラブ貸切で「煌の会」

越野 義貴(HBC)

今年の北海道は40℃超の予報も出された酷暑に見舞われて、沖縄に避暑に行こうなどという戯れ言も飛び交っている有様ですが、そのような熱気の中、去る7月4日に「煌の会」がこの暑さを吹っ飛ばす勢いで開催されました。

そもそも始まりは淑女たちのグルメ会だった本会も、今ではクラブ内でも指折りの親睦会に成長しました。

今回は、実に暫くぶりに本格

的ジャズを聴きながらの会食を…ということで、日本を代表するジャズ・シンガー、スージー黒岩がオーナーである札幌の老舗ジャズ・クラブ『DAY BY DAY』を借り切って企画しました。

実は彼女(黒岩静枝くん)と筆者とは中学・高校時代の学友ゆえ、もう65年以上にわたるお付き合いということで、今回は打ち合わせから実施までお手伝いを

させて頂きました。
彼女の素晴らしい歌唱と自慢料理に魅了されての3時間でした。彼女はお姉様の感化を受けて子供の頃からアメリカン・ポップスやジャズに馴染んできて、高校時代には既に素地が出来上がっていました。高校卒業と同時に、フライングかにプロの世界に身を投じ、米軍キャンプに帶同してベトナムに渡つて修行したという生え抜きの歌い手ゆえ、訴えてくるものがまるで違います。

前日には、毎週のルーチンワークとしている恵まれないお子さん達への炊き出しを終えて、疲れている中でのおもてなしも感動ものでした。

しかし、天下のサムライ揃いの民放クラブですよ：飲んで食べて聴いているだけで済む筈がありません。ある者はピアノ伴奏で歌い出す、ある者はウクレレ片手に歌い出す。ひとしきり盛り上がった後、今度は踊り始める人続出で、狭い(黒岩、ゴメン)店内は一瞬にしてお祭りの会場と化し、皆さん心から楽しんで解散となりました。

なお、この12月から北海道新聞紙において、彼女の伝記が連載される予定だそうです。



筆者(左)とスージーは学友



スージー黒岩



ジャズ・クラブがいつの間にかダンスホールに変身